



ひびき



隔月刊

(題字 佐藤 寛)

令和7年11月28日

特定非営利活動法人 福島・伊達精神障害福祉会 (通称：ひびきの会)
事務局：〒960-8055 福島市野田町2丁目5-9 TEL 024-563-7680 FAX 024-563-7685

2025年 晩秋、文化の日のご挨拶

理事長 相澤 與一

みなさん、こんにちは。ごかげんはいかがですか。おかげさまで、私は元気です。

今日は文化の日です。思い返せばこの日は、今の私の歳まで生きた父の誕生日で、昔はこの日に両親が弟の車で来訪し、彼の誕生を祝ったものです。彼は、わが家の妻の手料理に舌つづみを打ち、俺が飲めなくなったら終わりだな、とってご機嫌でした。私は昨日の夕方、陽が落ちた暗い道を娘が久方ぶりに土湯温泉に連れていってくれたので、おかげで昨晚はぐっすり眠れました。ただし、この三連休は、出版社から頼まれた書評の執筆で難儀しました。そしていまは、それほどではないけど、少々難儀な会報の挨拶文づくりです。

さて、いつまで経っても、ひびきの会には私らの手に余る問題があります。もちろん、問題の大枠は財政問題です。そもそも障がい者福祉への財政支出が、国際的に見て日本は最低クラスであることが基本問題なのです。まして今度は、高市新総理が(お遊びではない)トランプに魅力的であるとはいえそうもない風貌で媚を売ったのか、国会にもかけずに、軍拡費の二倍化を前倒しにすると「約束」する始末。もうめちゃくちゃです。そうすれば、もっと福祉経費は削られます。

こういう大枠の中で、ひびきの会は、赤字経営

部門を整理しないと債務返済が難しいというのです。それで、本来なら相談支援も就労支援に劣らない福祉なのに、相談支援では経営が成り立たないというのですから、困ったものです。こういう枠組みのなかで、福祉の実質をいかに保全するかという難問と格闘するわけです。これらの制度的ゆがみは、そこで働く職員のあいだにも不安と不信を生み、意見の食い違いなどによる「人間関係」問題も生まれやすいのです。

地方行政だって、私らに必ずしも好意的ではありません。私が福島市長との懇談会で、メンバーの通所交通費の増額を要請しても、障がい者だけを優遇するのは不公平だというのです。この論法は市議会でも跋扈し、高齢者パス問題でも高齢者だけを優遇するのは不公平だという市長の主張をうのみにして、その無料パスが廃止されました。一時が万事、こんなぐあいなのです。この会報が届くのは市長選のあとなので、こういう意見も選挙には影響しません。

人間、生きているうちは苦勞が絶えず、社会だってそうだと腹をくくり、最後の福祉人生を生きます。みなさん、相互理解と連帯を大事にし、われわれの福祉と生活保全のために努力しあいましょう。



第33回ばんだいのつどいへ参加して



9月26日(金)「第33回ばんだいのつどい」に利用者、職員合わせ10名が参加しました。

郡山ウインドアンサンブルサックス四重奏では、冒頭のウキウキするような曲から始まり、ディズニーの幻想的な世界観を表現した曲、力強く迫力ある曲、最後には思わず立ち上がり踊り出してしまふ曲と躍動感あふれる演出でした。

各活動では、スポーツ、音楽、入浴剤作りと分かれそれぞれ楽しみ、最後のビンゴ大会では、豪華景品を賭け大盛り上がりで、とても楽しく、とても贅沢な時間を過ごすことができました。



～参加利用者さんの感想～



ばんだいのつどい、とっても楽しかったです。去年よりも内容がもりだくさんでよかったです。まずコンサートは、サックスのアンサンブルの演奏でとてもすてきでした。しかし、手拍子のしすぎでちよつとつかれました。次の選択活動は、音楽を選択しました。太鼓など打楽器の演奏・ダンス・歌などをしました。最後のビンゴ大会は、すばらしい景品をいただきました。家族のおみやげにしました。来年もばんだいのつどいがあったら、また参加してみたいです。

ろんどで参加したのは今回が初めてのばんだいのつどいでした。

コンサートは色々な曲を楽しめて良かったです。ボッチャでは足を引っ張てしまいましたが、チームのみんなが頑張ってくれたおかげで全勝でき、昼食は豪華なからあげ弁当で美味しかったです。ビンゴ大会は全集中で頑張ってビーフシチューを獲得しました。

最後にみんなの前で感想の発表を頼まれた時、上手にしゃべれるか不安で緊張しましたが、本番では大きな声で発表することができ有意義に楽しめました。



HANA 大戸 彩加



ワークショップ 塩田 寛

令和7年度北海道・東北ブロック家族会精神保健福祉促進研修会(兼) 第41回岩手県精神保健福祉家族市民大会中部大会 出席報告

令和7年10月7日に花巻市定住促進センター なはんプラザで開催されましたが、概要は次のとおりです。

1 全国精神保健福祉会連合会

1965年(昭和40年)に全国家族会連合会が発足し本年で60年を迎える。精神保健福祉サービスにおいて、当事者および家族が求めるサービスが多種多様化しており、それがニーズに合っていない、アンマッチのケースも見受けられる。

精神保健福祉サービスに決まった形はなく、当事者や家族に寄り添うことがより一層求められ、精神保健福祉事業の重要性が増している。

2 情勢報告(全国連合会)

みんなねつとは2026年3月12日に発足60年を迎え、当事者だけでなく家族にも手厚い支援をしていきたい。

65歳未満の障がい者と家族は全国で約191万人と推計しており、精神に障がいを持つ方が年々増えていて、家族会活動が多様化している。

みなさんからの声を受けて、家族会、みんなねつとの活動を広げていきたい。

3 ブロック北海道・東北各県連合会による報告(福島県連の発言)

家族会の会員数が、ピーク時と比較して、令和7年度現在で約6割程度となっており病院主体の家族会が減少していることが主な要因と考えられる。

家族会が“昭和”の考え方のままで、今のニーズに合わないケースが少なくないと感じている。家族会にいかにして加入していただくか、会員数減少に歯止めをかけたい。他の障がい団体との連携を家族会の今後のあり方として考えていく。

以上、全国精神保健福祉会連合会と家族会のあり方や会員数の減少対策が主な報告でした。家族会が今のニーズにあった支援のあり方を考えていくことは、福島県に限らず北海道・東北各県の共通認識であることを実感いたしました。

法人事務局 五十嵐 良則

福島県精神保健福祉会連合会(つばさ会)幹事

第50回 障がい者スポーツ大会に参加しました！

令和7年10月8日(水)福島トヨタクラウンアリーナにて、「第50回障がい者スポーツ大会」が開催されました。例年は土曜日に開催されていたスポーツ大会でしたが、今回からは平日開催になったことで、作業との兼ね合いもあってなのか参加人数が少なかったような印象でした。また、今年は順位を付ける競技が少なく、“Newスポーツ”を全員で体験する時間が多くあり、職員も利用者さんも一体となつての参加型の楽しいスポーツ大会となりました。



真夏を思わせるような暑い朝、いつもより1時間程早く起き準備をしていた。ちょっと目を閉じたらウトしたのか、ハッとして目を開けた時、時計の針は集合時間の7:45を指していた。「やってしまった…」急いでひびきへ連絡し車を走らせ、なんとか時間内に体育館に着くことができた。今回光栄にも、木幡市長の前で選手代表としてラジオ体操を行わせて頂き、その後のボール転がし競争では3位に入賞した。今回のスポーツ大会の後半は、Newスポーツ3種を体験型で行う全員参加型の大会で、とても有意義な楽しい時間を過ごした。来年も参加できるかどうか分からないが、このような「仲間」と触れ合える機会を大切にしたい。

鈴木 英生



障がい者スポーツ大会で、今回2種目に参加しました。自分なりに頑張つて、短距離走は3位、ボール転がしは2位でした。新しいスポーツをみんなで楽しむ時間もあって、とても楽しい1日でした。

山岸 卓也

第25回パネルの会『成人の発達障害の理解と支援』を聴講して

福島県精神障がいピアサポーター 鈴木 英生

10/26(日)小雨降る生憎の天候だったが、コラッセに於いて標題の市民学習会が行われた。久しぶりに再会できる先生方やお世話になっている方々、仲間に会えるのも楽しみの一つだった。

内容としては、冒頭、県精神保健福祉センター職員でありピアサポーター仲間でもある三井さんから『当事者としての発達障害』としてご自身のリカバリーストーリーも含めたご説明、東北大学・國井先生からは『発達障害』の基礎知識や医療的アプローチのご紹介・そして昭和大学・太田先生からは特に注力されている『デイケアでの試み』を主にご説明頂いた。

三井さんは、「仕事において発達当事者は、曖昧な指示は受け取りづらい」、「具体的にこれをこうやってこうして欲しいという指示の出し方が適切」であると話された。私の場合、指示者の最終的に望んでいることが話の中から読めるタイプなので少しだけ理解に苦しむところはあった。しかし、同じ脳の疾患でも、『あ〜こういう疾患もあるのだなあ』と、ある程度の理解はできた。

次に國井先生からの説明では、発達障害領域で色々なワードが乱立しているので、まずは整理が必要だなあと感じた。

私の主治医が研修医時代、指導医が國井先生だったこともあるので、自分なりに整理したものを主治医より学びながら知識にしたいと感じた。

続いて、太田先生が実践されている『デイケア』について説明を受けた。びっくりしたのは私の専門である「ピアサポート」がプログラムにふんだんに盛り込まれている、ということだった。しかも、『都会ほどピアサポート文化が盛んである！』という言葉も頂き関心が俄然高くなった。見学したい！！勉強したい！！一念で思い切って先生とご挨拶と名刺交換もできた。

その後質疑応答のディスカッションに移ったのだが、会場での質問もかなりあった。インターネットライブ配信が全国に流れていたの、その質問も沢山あり、司会の丹羽先生にしては、珍しく少々焦っておられた。それはなるべく皆さんの質問にお答えしようとする先生の配慮であるとも映った。

会の終了後、丹羽先生と3分ほどお話しできた。「ピアの周知活動を草の根的に実践中であるが、いわれの無い誹謗中傷や批判非難にも遭う。家族ですら理解を得ていない。心が折れています。」と吐露したところ丹羽先生からは「いつも何か起こすのは『当事者』なんですよ。応援しています！頑張て！！！」と最高のエールを頂いた。その言葉を胸にこれからも頑張りたいと思える学習会であった。

以上

お茶のまね会報告

11月8日(土) 澄み切った青空に映えた街路樹の紅葉と落ち葉を眺めながらひびきへ。
家族9名スタッフ2名の参加で行いました。4カ月ぶり久々の方もいて、始まる前から大いに話が弾みました。

●一日中横になってスマホで無料のアニメの本を読んでいる。現状本人は何も困っていないが、ほとんど外出しないので運動不足。太ってきた。親としては気がかり。

●通信教育8年がかりで取得した精神保健福祉士の資格で、現在いろいろなところで話をする機会を得ている。その日一日の安定を図るために無理をしないでやっていくことを我が家の家訓にしている。

●夜間中学に月1度ほど行っているが、活動の場がないので医療生協の体操教室に誘い参加している。スマホ教室にも出かけている。親も年を取ったが息子も・・・

●変わりなく自立して生活をしている。今後の支援センター登録について迷っていたが、手作りのお菓子をもって皆に食べてもらいみんなの笑顔を見て、登録することになった。

親自身はケアハウスに入居している。三食昼寝付きだが部屋に閉じ込められているようで時々一緒に音楽会に行くようになったが、親子の距離の取り方を考えていきたい。

●3カ月を超えているが現在入院中。いい方向に向かっている。同室の人とうまいかないとか手元に残金がないとか言ってくる。家ではどうしても甘やかしてしまうのでいい方向にいけばと願っている。面会は面会室で15分。

●障害者雇用8時間勤務。働きすぎて体調を崩し3週間の休業診断書で休業したが、2週間でよくなり復帰した。しかし再発して休業している。本人の出勤意欲はあるがまた悪くなるのではと心配。正職常勤からパート勤務にとも考えている。

●落ち着いてきた。w病院の介護施設でボランティアをやり始めた。病気のことも開示し、あえてボランティアでやりたいと言って歓迎された。B型事業所週2日、通院、ボランティア隔週1回ずつ。自力で通っている。

◎光家事務局長から支援センターひびきの閉所についてお話がありました。来年4月以降プログラムを残しながらB型を組み合わせで検討しているとのこと。利用者も期待半分不安半分のようです。

◎職員の小林さんからは、久しぶりに家族の話を聴き状況が分かってよかった、緩やかな形で徐々に様子を見ながらルールを取り入れ、利用者の不安を少なくしていきたい、と感想。

★ 次回は1月10日(土) 10時 ～ 12時 支援センターひびき ★
～ 新春交歓 ～

新年もどうぞよろしく願いいたします。
事務局でお弁当を用意しますのでどうぞお楽しみに。

参加申し込みは法人事務局 1月8日(水)まで

TEL 024-563-7680 (五十嵐)

「ひびきの会」あしあと

<令和7年>

- 9月1日(月) 介護労働安定センター訓練修了者就職面談会出席
- 9月2日(火) リーダー会議※
- 9月8日(月) 令和7年度サービス管理責任者等基礎研修FT打合せ出席
- 9月10日(水) アンガーマネジメント研修出席
- 9月12日(金) だて支援学校高等部作業学習見学会意見交換会出席
- 9月13日(土) お茶のまね会※
- 9月16日(火) 福島市自立支援審査会出席
- 9月17日(水) 令和7年度第4回理事会※ / 伊達市自立支援協議会就労支援部会出席
- 9月18日(木) サービス管理責任者等基礎研修FT出席 /
ばんだいのつどい実行委員会出席
- 9月19日(金) サービス管理責任者等基礎研修FT出席 /
福島県安全運転管理者等講習出席
- 9月20日(土) 授産事業振興会経営相談出席
- 9月24日(水) 就労選択支援研修会出席
- 9月25日(木) 福島県北地区障がい福祉連絡協議会定例会出席
- 9月29日(月) 令和7年度サービス管理責任者等基礎研修出席
- 9月30日(火) 令和7年度サービス管理責任者等基礎研修出席 /
福島市手をつなぐ親の会「創立70周年記念式典」出席
- 10月2日(木) 県北地域保健医療福祉協議会出席
- 10月7日(火) 令和7年度北海道・東北ブロック家族会精神保健福祉研修会
岩手大会出席 / リーダー会議※
- 10月8日(水) 福作連・事業所視察研修会出席
- 10月9日(木) 福島市GH事業所連絡会世話人向け研修出席
- 10月17日(金) 最新税制の実務対応のポイント研修会出席
- 10月21日(火) 税制改正・年末調整セミナー出席
- 10月22日(水) 令和7年度第5回臨時理事会※
- 10月23日(木) 福島県北地区障がい福祉連絡協議会定例会出席
- 10月27日(月) 社会保険事務講習会出席

※内部会議・会合

イベント情報

《ひびきの会》

☆お茶のまね会

1月10日（土）10:00～12:00

詳細は6頁を参照ください。

☆家族相談（要相談）

毎週火曜日 11:00～14:00

曜日と時間は要相談

担当：支援センターひびき

家族相談員が相談に応じます。

事前にご連絡をお願いします。

～販売会のお知らせ～

★コラッセ福島《HANA》

日時 12月1日（月）

時間 9:30～17:00

場所 コラッセ福島

★いきいき！ふくしまマーケット《HANA・ろんど》

日時 12月6日（土）

時間 10:00～15:00

場所 ダイユーエイトMAX・アオウゼ

★コラッセ福島《HANA》

日時 12月22日（月）

時間 9:30～17:00

場所 コラッセ福島

<編集後記>

「ぼとんぼとんは何の音？」「それはね・・・」と春の雪解け水を聴きながら巣穴で母グマは子供に言って聞かせる。何度も読まれた絵本。その「クマさん」が今とんでもないことになっている。身近にこんなにし息していたのかという驚き。ニュースのたびに心が痛む。人への被害も深刻だ。罾の中のクマ、駆除されたクマの胃袋は空っぽだったとハンター、何ともやりきれない気持ちだ。人里、里山、そして森。人と動物たちが共生できるよう願っている。
(たかはし)

<お問い合わせ>

ひびきの会事務局	TEL 024-563-7680
ワークショップ ろんど	TEL 024-563-3304
支援センターひびき	TEL 024-522-6886
HANA	TEL 024-584-2920
leaf	TEL 024-572-3770

<http://hibikinokai.sakura.ne.jp/hibikinokai/>

検索する場合は、
福島・伊達精神障害福祉会
と入力してみてください。